

## 平成21年度 第1回庄内町行政改革推進委員会 会議録

- 1 開催日時 平成21年7月7日(火) 13時30分～15時30分
  - 2 開催場所 庄内町役場 西庁舎 第二会議室
  - 3 出席委員 川村昭三、梅木 均、大瀧嘉瑞、佐藤敏雄、志田重一、高橋克弘
  - 4 欠席委員 五十嵐進、鈴木富士雄、和田明子
  - 5 事務局 情報発信課長、小林主査兼企画係長、清野主任、永田主事
- 

- 1 開 会 情報発信課長 (13:30)  
五十嵐委員長欠席により、川村副委員長が代わって議長となる旨説明

- 2 委員長あいさつ(川村副委員長)  
今年度第1回目の会議となる。昨年度に引き続き、委員の皆さんからはよろしく願いたい。

### 3 協 議

#### (1) 庄内町集中改革プランにおける平成20年度達成状況について

【企画係長】資料1・2に従い説明

【委員】 項目1-5の第三セクターの抜本的な見直しについて、イグゼあまるめについては、実際のところ内部の出資者が監査を行っている。当初の計画からすると、この様な状況で「達成」とするのは疑問が残る。評価の観点が問題なのではないか。

【企画係長】担当課の記載内容により「達成」と読み取ることができたためである。なお、ただいまの委員のご意見をお聞きし、再度評価の必要があると感じた。

【委員】 イグゼあまるめについては、当初資本金3,000万円でスタートしたところである。その間、プール事業を受託したことにより、現在赤字が続いている状況である。ただ、資本金については増資して3,800万円となっている。それにより、町の出資が全体の3割以内となっていることから、現在では町の関与は少なくなっている状況にある。また、先ほど話題に上った監査体制については、銀行の方などが監査に入っているところであり、官では実施できない部分について販売、開発に力を入れているところであるので、もう少し様子を見ていただきたい。

【委員】 全体に関して「未達成」となった部分の理由を教えてください。例えば人員不足により手が回らないなどが理由なのか。

【企画係長】達成と未達成の違いに係る特徴は区分できなかった。ただ、人員削減が進む中での事務量の増加が原因の一端なのではないかとは思われる。

【委員】 職員人件費の総額が町の総支出額の何割が適正なのか。また、その点についての議論も必要なのではないか。

【企画係長】今、詳しい情報は分かりませんが、人件費については類似団体との比較が一般的な目安となる。

【委員】 この資料を見る限りでは、未達成が達成となる目安、目標、効果が不明である。

【企画係長】 各事業の効果に係る評価内容については、今後開催する事務事業評価の第三者評価にて実施する予定となっている。

(2) 庄内町職員定員適正化計画における平成20年度進捗状況について

【永田主事】 資料3・4に従い説明

【委員】 保育園における臨時等職員の採用については、有資格者採用を大前提としなければならないものと思われる。現状では保育が未熟であると感じられる。現在の状況及び採用実態を教えていただきたい。

【企画係長】 今回ご指摘いただいたことについては、次回会議において回答させていただきたい。

【委員】 平成22年3月末での退職者を教えていただきたい。

【永田主事】 今年度末での定年退職者6人、うち1人が有資格者となっている。

【委員】 教育課の嘱託及び臨時等職員の採用に関して、年齢構成はどのようになっているのか。また、特別な支援を要する子供については今後増えてくると思われるので、その部分の手立て及び適正配置をすべきである。

【企画係長】 職員の年齢層及び特別支援の部分については、次回お示ししたいと思う。

【情発課長】 私の知りえる限りでは、特別な支援を要する子どもさんについては、受け入れているとの話もある。詳細については、次回にお示ししたい。

【委員】 将来的な職員の世代構成を考慮すると、バランスを考えた採用も検討していく必要があるのではないか。また、職員の削減による人員不足の解消のためにも、公民館や響ホールに対して指定管理者制度を導入するなどの手法もあるのではないか。

【企画係長】 各事業、施設に係るアウトソーシングについては、今後実施します事務事業評価の第三者評価にて実施予定です。なお、公の施設に対する指定管理者制度の導入については、ガイドラインに従い推進しているところである。また、職員の世代別のバランスに関しても、昨年度提出いただきました意見書に同様の意見を記載した経緯もあった。

【情発課長】 定員適正化計画においては、各年度の定年退職者に対して1人の採用としていたが、有資格者部分の退職を鑑み、今年度は一般行政職1人、有資格者1人の計2人の採用とするなど、現状を見ながら進めているところである。

【副委員長】 他に質問等が無ければ、協議はここまでとしたい。事務局に対しては、今回委員より指摘された事項について次回示していただきたい。

(3) その他

【永田主事】 資料5に基づき、第三者評価を含む今年度の事務事業評価スケジュールを説明

4 その他

5 閉会

(15:30)